

# 研 究 紀 要

## 進 路 指 導 部 会

東北地区高等学校進路指導協議会研究大会

[第2分科会 (就職指導) ]

研究発表 「本校でのキャリア教育の取り組みについて」

青森県立青森工業高等学校 進路指導主事 三澤 直 …… 1

部会の動き……………8

研究テーマ……………10

紀要編集委員 村 上 繁 樹 (青森県立田名部高等学校)

# 【 就 職 系 分 科 会 】

## 研究発表

# 本校でのキャリア教育の取り組みについて

青森県立青森工業高等学校 進路指導部 三澤 直

### 1 本校の特色

本校は大正2年に設立され、令和4年に創立110周年を迎えた伝統校である。

全日制・定時制併せて23,000名余りの卒業生を輩出し、地域をはじめ全国各地の産業界で活躍し、日本の工業技術を支えている。北には陸奥湾、南に八甲田連峰を望む豊かな自然環境に囲まれながら「勤労を尊び、自然を愛し、自主的・積極的で心身ともに健全な工業技術者の育成」を目指して授業や部活動に取り組んでいる。地域社会・産業界において求められる新しい時代に対応できる人材育成に取り組み、県都の工業高校としてさらなる飛躍を目指している。

### 2 本校の生徒数

現在の在籍数を右に示すが、来年度から電子機械科が機械科との統合により6学科となり、全校生徒数は630名となる。

生徒数（募集学科・定員）

学科	1 学年	2 学年	3 学年
機 械 科	35	35	35
電 子 機 械 科			35
電 気 科	35	35	35
電 子 科	35	35	35
情 報 技 術 科	35	35	35
建 築 科	35	35	35
都 市 環 境 科	35	35	35
合 計	210	210	245
	665		

### 3 卒業生の進路状況（令和元～3年度）

全体的に見ても分かる通り圧倒的に就職している生徒が多いことが分かる。令和3年度を除けば毎年約7割の生徒が就職を希望しており、その中でも県外へ就職する割合が高い。

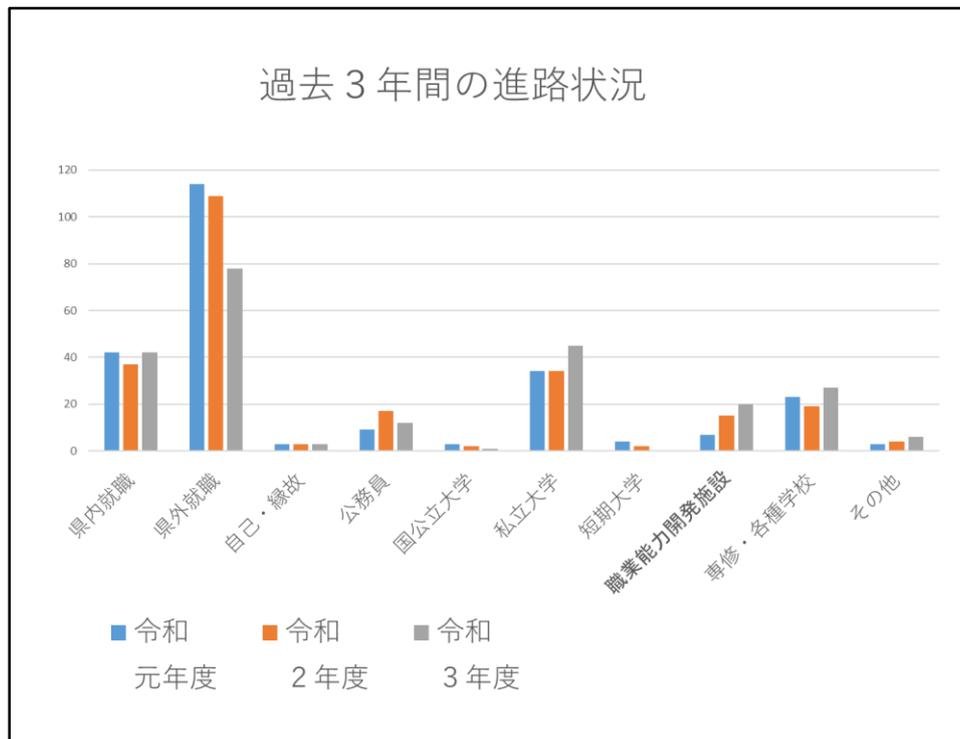
就業場所は関東が中心で、東京、千葉、埼玉、神奈川の順に多くなっており、愛知、大阪も職種によっては存在する。

近年は学科によって就職が多い学科と進学が多い学科に分かれている。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
県内就職	42	37	42
県外就職	114	109	78
自己・縁故	3	3	3
公務員	9	17	12
国公立大学	3	2	1
私立大学	34	34	45
短期大学	4	2	0
職業能力開発施設	7	15	20
専修・各種学校	23	19	27
その他	3	4	6
	242	242	234

	卒業生	県内		県外		公務員		合計	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
令和元	242	42	17%	114	47%	9	3.7%	165	68%
令和2	242	37	15%	109	45%	17	7%	163	67%
令和3	234	42	18%	78	33%	12	5%	132	56%

### 約 7 : 3 の割合で就職者が多い学校



#### 4 求人数の推移

本校に送付されてくる求人数は右に示す通りで、  
 県外求人はいわゆる10倍以上の数である。

当初はコロナウィルスの影響もあり全体的に求人が落ち込むのではと考えていたが、工業に関する職種はむしろ増えており予想に反した求人となった。

令和4年度10月時点では1,800社を超えている。

企業側からは「人手が足りない。特に若い人材の育成が急務である」との問い合わせが殺到している状況にある。

	県内	県外	合計
令和元	159	1542	1701
令和2	135	1279	1414
令和3	161	1603	1764

※県内外共にWEB求人は除く

## 5 本校のキャリア教育

本校でのキャリア教育に関する1年間の取り組みである。6月と10月は全学年とも活動を入れていないが、理由として、6月は高校総体、10月は文化祭を中心としてさまざまな行事が入っているためである。

月	1年生	2年生	3年生
4月	基礎力診断テスト①（国英数） 進路希望調査	基礎力診断テスト①（国英数） 進路希望調査	基礎力診断テスト①（国英数） 進路希望調査
5月	進路の手引き活用講座	進路の手引き活用講座	進路の手引き活用講座
6月			
7月	キャリアパスポート（1学期）	キャリアパスポート（1学期） インターンシップ（3日間）	キャリアパスポート（1学期） 進路ガイダンス（3学年）
8月	基礎力診断テスト②（国英数）	基礎力診断テスト②（国英数）	
9月		進路ガイダンス（2学年）	
10月			
11月	進路講演会 県内企業PRイベント		
12月	受験報告会 キャリアパスポート（2学期）	受験報告会 キャリアパスポート（2学期）	キャリアパスポート（2学期）
1月		先輩の講話	先輩の講話
2月		進路説明会（就職・進学）	
3月	キャリアパスポート（3学期） 進路四者面談（1学年）	キャリアパスポート（3学期） 進路四者面談（2学年）	

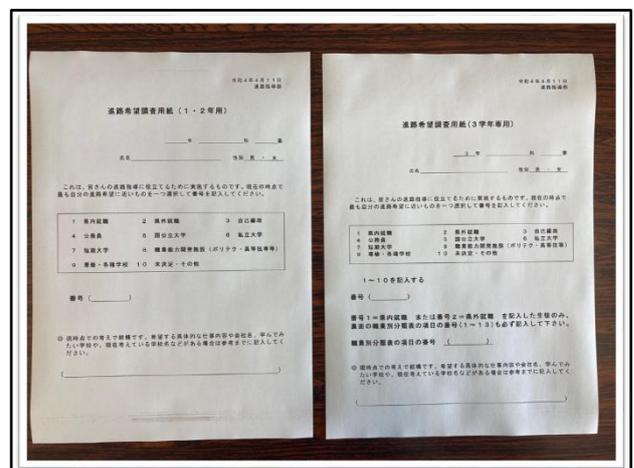
## 6 キャリア教育活動（月毎）

### （1）4月のキャリア教育活動

#### ①進路希望調査の実施（全学年対象）ホームルーム活動

1年生に関しては入学間もない時期ではあるが実施している。漠然とした考えであったとしても、早い段階での進路意識の啓発が大きな狙いである。

結果は担任のみならず、全職員で共有することで、個々の進路指導の参考となっている。



②基礎力診断テストの実施（全学年対象）

日時を設定して全学年一斉に実施している。

国語・数学・英語の3科目を行い、現時点での自身の実力を知ることによって進路達成に向けた学習に力を注いで欲しいとの狙いから行っている。

月を改め5月にはテスト作成会社であるベネッセコーポレーション様より講師を招き、全職員で分析会を行っている。全体的なレベルから個々の実力に関するさまざまな学力データを知ることができ指導の参考としている。



(2) 5月のキャリア教育活動

①「進路の手引き」活用講話の実施（全学年対象）ホームルーム活動

各校で毎年作成し配布している「進路の手引き」活用頻度が少ないことを反省しながら、常に活用する事を目的としている。

3年生については就職と進学に別れる時期でもあるため、前半と後半に分けて具体的な説明をしている。



②キャリアパスポートの活用

県教育委員会が提供しており、次の4つの「力」を育成しながら、自らの進路達成に向けてページをめくっている。

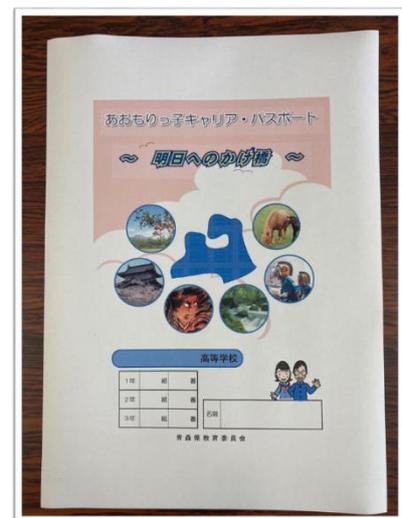
年間のホームルーム活動の中に位置づけ、全学年同じく学期の終わり頃（7月・12月・3月）に日時を設定しながら活用している。

☆今の将来の自分を見つめよう【自己を見つめる力】

☆人とのつながりを考えよう【つながる力】

☆自分の行動を、将来に生かしていこう【動く/生かす力】

☆自分の未来を創り出そう【創り出す力】



青森県教育委員会提供

### (3) 7月のキャリア教育活動

#### ①インターンシップ（2学年対象）

7月上旬、県教育委員会の後援を受け「仕事力養成事業」の一環として毎年実施している。しかしコロナウィルスの影響から令和2年～4年度は続けて中止となった。

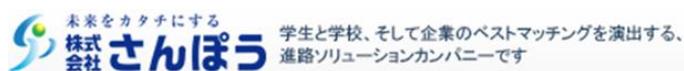
次の進路を見据えた学年として「職業観」を最も養う事ができる機会を3年連続失っており、次年度に大いに期待している。



### (4) 9月のキャリア教育活動

#### ①進路ガイダンス（2学年対象）ホームルーム活動

9月上旬、2学年主導で実施している。就職、公務員、進学希望者に別れた形で行っている。就職する際の面接・小論文・SPI等の指導や、進学する際の学費・生活費・奨学金・受験方法などについて、株式会社さんぽう様より講師を招いて、それぞれの場所でレクチャーを受けている。

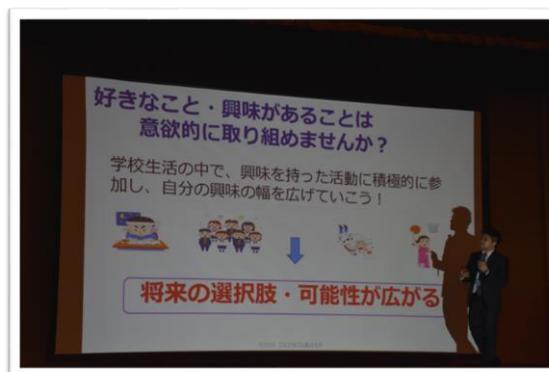


### (5) 11月のキャリア教育活動

#### ①進路講演会（1学年対象）ホームルーム活動

11月上旬、1年生は入学してから半年が過ぎているが、1年生であっても強く自身の進路に対して意識をもって欲しいことから毎年実施している。クラスによっては既に2回ほど進路に対する個人面談を実施をしているところもあり、進路に対する意識はより高まっている時期となる。

青森県が運営している「青森県若年者就職支援センター」通称ジョブカフェより講師を招き、将来の選択肢や可能性についてレクチャーを受けながら、具体的な進路選択の準備に入っていく。



## ②県内企業PRイベント（1学年対象）

本県の企業を広くPRすることで、県内企業の魅力を発見し県内就職を希望する生徒を増やしたいとの狙いから、県の関係機関とタイアップしながら毎年実施している。

圧倒的に県外就職者が多い本校であるが、県内企業の魅力をもっと前面に引き出すことを目的としている。



## （5）12月のキャリア教育活動

### ①受験報告会（1・2学年対象）ホームルーム活動

12月下旬、3年生がどのような目標を立てながら進路に取り組んできたかなどを在校生に伝える会である。就職・公務員・進学にそれぞれ取り組んだ3年生を選抜して発表する。

在校生は先輩の取り組みを知ること、更に進路意識を高め自分の進路に役立てる。



## （6）1月のキャリア教育

### ①先輩の講話（2・3学年対象）ホームルーム活動

1月中旬、冬休みが終わり3年生は残り少ない高校生活となる。卒業後はいよいよ社会人として、学生として次のステージに移っていくが、昨年の3月に卒業した先輩方3名を講師に招き「働くことの楽しさや難しさ」「大学での勉強での苦労」など、目前に迫っている3年生に話してもらう会である。

3年生からはたくさんの質問が先輩方に寄せられ「嫌な上司はどんな人」「休みは貴重ですか」「大学の楽しさは」など、とても有意義な時間である。



## （7）2月のキャリア教育

### ①進路説明会（2学年対象）ホームルーム活動

今年度より新たな試みとして計画中であるが、直近の卒業生が在籍している県内企業3社、県内にある学校3校（大学・専門・職能短大）を学校に招き進路説明会を計画している。

進路が直前に控えている2年生に対して、改めて県内の企業、学校の良さを理解してもらうのが目的である。

また、当日は卒業生が全面に立ち説明するような、生徒達が親しみやすく、ざっくばらんにいろいろなことが聞ける会を作れればと考えている。

## 7 キャリア教育についての今後の課題

### (1) キャリアパスポートの更なる活用と定着

活用が少ない感じを受けるキャリアパスポート、もっと身近に利用できる方法として、次年度からは「進路の手引き」と抱き合わせで印刷することを考えている。

次年度以降は予定されている進路行事全てに「進路の手引き」を持参させ、目に触れる機会を多くするようにしたいと考えている。

### (2) 県内就職率の向上

現在は圧倒的に多い県外就職だが、少しずつでも県内就職を希望する生徒が増えるように力を注いでいきたい。

### (3) 青森県が後援する「キャリア形成教育事業」の積極的な参加。

県内就職希望者の向上を目的として、県が主催、後援となる事業に積極的に参加し、県内企業の魅力をPRしていきたい。

## 8 まとめ

この度、本校キャリア教育の取り組みについて簡単ではあるが寄せる事ができた。

一年間の学校のカリキュラムには、授業は勿論のこと、隙間が無いほどのさまざまな行事や計画している案件があるが、これからも更にキャリア教育を充実させ、職業高校としてのブランド力を高めていきたいと思っている。

各校の先生方におかれましては、何か良い情報がございましたら本校までお寄せいただければ幸いである。

# 部 会 の 動 き

令和4年4月～令和5年3月

## 1 第1回代表者会議並びに専門委員会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点により中止。書面による議案承認。

### 代表者会議

- (1) 令和3年度庶務報告・決算報告
- (2) 令和4年度事業計画案・予算案：原案通り承認
- (3) 役員改選 部会長：矢部広明（田名部高校校長） 副部会長：玉井勝弘（むつ工業高校校長）  
進学指導専門委員長：馬場桃子（田名部高校） 就職指導専門委員長：新堂昭生（むつ工業高校）  
理事16名（地区責任者を含む） 監事2名

進学・就職専門委員会：アンケート集計のみ実施

## 2 東北地区高等学校進路指導協議会第1回各県会長・事務局長会議

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点により中止。書面による評決会議。

- (1) 令和3年度事業報告・決算報告について
- (2) 令和4年度役員について
- (3) 令和4年度事業計画・予算案について
- (4) 東北高進協ローテーション、東北地区研究大会の役割分担等の確認について
- (5) 東北地区研究大会（青森大会）について
- (6) 各県進路指導の状況ならびに問題点について
- (7) その他

## 3 全国高等学校進路指導研究協議大会

7/28(木) 7/29(金) 東京都 国立オリンピック記念青少年総合センター

## 4 東北地区高等学校進路指導協議会研究大会青森大会

10/15(金) オンライン開催

参加者82名（進学系47名・就職系34名） 外部講師1名

研究テーマ『『生き抜く力』を育む進路指導・キャリア教育の在り方』

全体講演『偶然の出来事や出会いを必然に変える指導～「やりたいこと」と「やれること」～』

講師 青森中央学院大学教授 成田 昌造 氏

### 第1分科会（進学指導）

<発表>

- ①岩手県：「本校の進路指導について」 岩手県立花巻北高等学校 教諭 八尾 晃一
- ②福島県：「本校の進路指導の現状と結果について ～私の選択には、意志がある～」  
福島県立葵高等学校 教諭 永井 清和
- ③山形県：「本校の進路状況並びに進路指導の取組」 新庄東高等学校 教諭 荒木 正人

### 第2分科会（就職指導）

<発表>

- ①秋田県：「『生き抜く力』を育む進路指導・キャリア教育の在り方 ～統合1年目を終えて～」  
秋田県立能代科学技術高等学校 教諭 浅野 広志
- ②宮城県：「第2学年 進路指導の取組」 宮城県登米総合産業高等学校 教諭 阿部 かおり
- ③青森県：「本校でのキャリア教育の取り組みについて」 青森県立青森工業高等学校 教諭 三澤 直

5 東北地区高等学校進路指導協議会第2回各県会長・事務局長会議

10/15(金) オンライン開催

会長・事務局長参加

6 第2回代表者会議並びに専門委員会

2/17(金) 新型コロナウイルス感染症予防の観点により中止

代表者会議：令和4年度庶務報告・会計中間報告・ローテーション確認  
進学・就職専門委員会：アンケート集計のみ実施

## 研 究 テ ー マ

紀 要 No.	年 度	研究テーマ	会場	会員数 (一・二希 望計)	大会参加数	大会 発表 者数
54	21	‘生きる力’を育む指導はいかにあるべきか	青森県総合 社会教育 センター	200	113	6
55	22	新学習指導要領を視野に入れたキャリア教育の充実	八戸プラザ ホテル	229	会員 115 全体 175	6
56	23	『生きる力』を育む進路指導はいかにあるべきか	青森県総合 社会教育 センター	239	105	6
57	24	『生きる力』を育む進路指導はいかにあるべきか	青森県総合 社会教育 センター	226	105	6
58	25	『生き抜く力』を育む進路指導はいかにあるべきか	青森県総合 社会教育 センター	203	113	6
59	26	『生き抜く力』を育む進路指導はいかにあるべきか	青森県総合 社会教育 センター	209	110	6
60	27	『学び続ける』社会で生き抜く力を育む進路指導の在り方	青森県総合 社会教育 センター	209	140	6
61	28	『生き抜く力』を育む進路指導はいかにあるべきか	青森県総合 社会教育 センター	234	97	6
62	29	『生き抜く力』を育む進路指導はいかにあるべきか	青森県総合 社会教育 センター	224	94	6
63	30	『生き抜く力』を育む進路指導はいかにあるべきか	青森県総合 社会教育 センター	221	104	6
64	元	『生き抜く力』を育む進路指導はいかにあるべきか	青森県総合 社会教育 センター	223	113	6
	2	中止	-	-	-	-
65	3	『生き抜く力』を育む進路指導はいかにあるべきか	オンライン	203	83	4
66	4	『生き抜く力』を育む進路指導・キャリア教育の在り方	オンライン	187	会員 50 全体 82	6